

2013年度 入学式

4年間の 努力を誓う

2013年度・大阪経済大学入学式が、4月1日(月)、午前と午後の2部に分かれて70周年記念館(A館)フレアホールで行われた。今年度の入学者は学部・研究科を合わせて1973名。式典の模様や緊張した面持ちの新入生の様子などを大勢の保護者が別室で見守った。

式典ではまず、本学・吹奏楽総団とグリークラブが、おいてほしい言葉として演奏と合唱で新入生を祝福。「志・おかげさまで 道理は続いて来賓の佐藤武司同窓会長・中川千恵後援会長、そして徳永光俊学長、勝田泰久理事長、新しく就任した各学部長、研究科長が紹介された。

式辞では徳永学長が「新入生はNew大経大の主人公として勉学やクラブ活動に励んでほしい」と訓を述べ、ゼミ・マナー・就職の大経大という本学の教育スタイル



宣誓をする森兼悠介さん

2012年度卒業式・学位授与式

感謝の心を胸に旅立ち



2012年度卒業式・学位授与式が3月14日(木)、午前(経済学部、人間科学部、経済学研究科、人間科学研究科)と午後(経営学部第1・2部、経営情報学部、経営学研究科、経営情報研究科)の2部に分けて、70周年記念館(A館)フレアホールで行われた。

式典ではまず卒業生の門出を祝って吹奏楽総団が「ハナミズキ」一青窈の曲を演奏。続いてグリークラブが「明日があるさ」青島幸男作詞、中村経済学440名の総代

八大作曲を合唱。壇上として真鍋優介さん、経済学部・地域政策学科169名の総代として木村

式典ではまず卒業生の門出を祝って吹奏楽総団が「ハナミズキ」一青窈の曲を演奏。続いてグリークラブが「明日があるさ」青島幸男作詞、中村経済学440名の総代八大作曲を合唱。壇上として真鍋優介さん、経済学部・地域政策学科169名の総代として木村実紀さん、人間科学部・人間科学科195名の総代として石郷岡愛さん、経済学研究科9名の総代として寺坂淳さん、人間科学研究科9名の総代として大谷みちるさん、そのほか経済学博士を取得したハリス・デニス・コッソグが「人々のマナをやるな」生懸命にやっていると自分に向いているものが見つかる」と苦しい時ほど笑えなどの人生訓を紹介。一ひびきさんも、生きる力や勇気が湧く、そのような言葉を聞けてほしい。そして大経大プライドを持って生きてほしいと激励した。

卒業証書授与

式典の後にはゼミ別に各教室に分かれて、それぞれ担当教員から卒業証書や卒業集などが一人ひとりに手渡された。午前



歌声を披露するグリークラブ

を紹介し、保護者とのつながりの緊密化を訴えた。午後の経営学部の会場では、池島真策学部長が、吉野忠男副学部長と高原龍二学部長補佐を紹介。経営学部の教育理念や育成をめざす人材像、学部教育の内容と流れなどを示した。続く吉野副学部長は、順調な就活のために保護者のサポートが必要であることをアピール、高原学部長補佐は本学の学生に対する精神面のサポートシステムなどを説明した。



卒業証書を授与する徳永学長

主な記事

contents

- (1) 面 入学式、卒業式・学位授与式
- (2) 面 創立80周年記念講演会
- (3) 面 大樽会だより
- (4) 5面 ゼミ特集、課外活動祝勝会他
- (6) 面 キャリアサポート、主な就職先
- (7) 面 黒正塾、オープンカレッジ
- (8) 面 災害犠牲者ゼロの地域づくりを考える集い他

なむけの言葉を贈り、ゼミ活動や記録したオリジナルの写真を手渡した。午後の部の三島重

生代表による答辞では、午前部の総代を務めた石郷岡愛さん、午後の部の総代を務めた本房秀一さんが登壇。感謝の言葉と共に4年間を振り返り、藤本義治研究科長の首領で乾杯し、大勢の卒業生たちが恩師を囲んで歓談。そして女性シンガーソングライターによる

午後4時40分から経営情報学部・経営情報研究科の「卒業パーティー」が学生会館2階ホールで行われた。まず家本修学部長が「社会で頑張る、次の新しい世界を切り開いてください」とあいさつ。藤本義治研究科長の首領で乾杯し、大勢の卒業生たちが恩師を囲んで歓談。そして女性シンガーソングライターによる

午後4時40分から経営情報学部・経営情報研究科の「卒業パーティー」が学生会館2階ホールで行われた。まず家本修学部長が「社会で頑張る、次の新しい世界を切り開いてください」とあいさつ。藤本義治研究科長の首領で乾杯し、大勢の卒業生たちが恩師を囲んで歓談。そして女性シンガーソングライターによる

こと、笑顔を忘れないことが重要。皆さんは本日より同窓会の正会員となり、各支部にもぜひ顔を振り、にぎやかな拍手が送られていた。



講演する岩本沙弓氏

大経大講座2013 春季講演会の共通テーマは「経済・金融」で、第2回は岩本沙弓氏（上）、C館31教室で開かれた。客員教授講演会は、現代社会を取り巻く諸問題やトピックなどをテーマに、本学客員教授が日本や世界の現状を分析し将来を展望するもの。今回の

まず日本の経済状況について、経済収支や貿易収支のデータ（日本銀行などをもとに）を説明。財務省もIMFなどの国際機関も日本を財政危機とは見ておらず、むしろ日本経済のファンダメンタルズ（ベース）的な

底力（は）は増強している」と強調。アベノミクスについては、「必要なのは賃金上昇を伴った物価上昇で、日本の経済力の増強がメインとなるべきだが、いまだ具体的な成長戦略が示されていない。金融緩和も、日銀が緩和しただけでは市中に資金は流れない。金融機関の貸し出し姿勢など資金を堰き止めている構造にメスを入れるべきだ」と主張。米国のシェールガス・オイル革命については、話題性が先行して法的整備などが追いついておらず、バブル化の恐れもあると指摘

外国為替・短期金融市場取引を中心としたトレーディング業務に従事した経歴を持ち、現在は為替・国際金融関連の執筆や講演などで活躍中。日本の経済状況、アベノミクスの総括、米国シェールガス・オイル革命などについて独自の視点で解説した。

さらに米国の財政収支のデータ（ホワイトハウス）やオバマ大統領の就任演説・一般教書演説の内容をもとに、為替政策の転換によるドル高の可能性に言及。日本では消費税の段階的増税が予定されている。2016年以降の景気腰折れを懸念した



第2回「日米新政権」半年目を検証

大経大講座2013 客員教授春季講演会



壇上の辛坊治郎氏

創立80周年記念講演会

情報の「本当」見極めて

正しい判断は正しい情報から。学生や本学関係者など約500名が、時事的な話題に対する独自の視点に支えられた、ユーモアあふれる解説に聴き入った。

辛坊氏は「インターネットは情報を得るのに便利だが玉石混交。人はいろいろな理由で判断を間違える。その情報のどこまでが本当な時代と異なりイヤな人ともコミュニ

辛坊氏が学生にアドバイス

「正しい判断は正しい情報から。学生や本学関係者など約500名が、時事的な話題に対する独自の視点に支えられた、ユーモアあふれる解説に聴き入った。辛坊氏は「インターネットは情報を得るのに便利だが玉石混交。人はいろいろな理由で判断を間違える。その情報のどこまでが本当な時代と異なりイヤな人ともコミュニ



同窓会・後援会員の皆様へ

2013年度大経大 パソコン教室のご案内

去年に引き続き、今年もパソコン教室を開催させていただき運びとなりました。本年度も講義内容を充実する予定でございますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

●開催日時 2013年8月31日(土)、9月1日(日) 午前9時～午後5時(予定)

※いずれか1日のみのご参加とさせていただきます。

●場所 大阪経済大学大隅キャンパス 50周年記念館(E館)

●参加費 無料

応募要項

●応募条件 本学(大阪経済大学)同窓生の方、及び本学後援会員の方とご家族。本人を含むお申し込みで、1組につき5名までとさせていただきます。

●応募方法 受講ご希望の方は、同封の申込用紙に必要事項をご記入の上、封書もしくはFAXにてお申し込みください。

※封書の場合、郵送料はご本人様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

●応募先 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

大阪経済大学同窓会 パソコン教室 係

【お問い合わせ】TEL: 06-6328-2431 FAX: 06-6328-4564

●申込締切日 7月17日(水)〈当日消印有効〉

※申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。当選発表は受講票の発送をもって代えさせていただきます。(8月中旬発送予定)

会場へのアクセス

会場には駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。

※当選者の方には別途詳しいアクセス方法をお知らせいたします。

●延期の場合 31日・1日ともに台風などで延期となった場合は翌週の9月7日(土)となります。

講座内容

●スタートコース

基本的なパソコンの使い方から、主にインターネットの利用方法を学びます。通販サイトの利用方法から、メールを送る方法などを学習する予定です。パソコンが初めてで、基礎からしっかり学びたい方向けのコースです。

●ワード・エクセルコース(実務向け)

Microsoft Office Word (ワード) と Microsoft Office Excel (エクセル) の応用コースです。エクセルでは関数やグラフを用いてデータ作成を行い、そのデータをワードに取り入れて文書を作成します。普段からワード・エクセルを利用している方のスキルアップを目的とします。

●ワード・エクセルコース(一般家庭向け)

Microsoft Office Word (ワード) と Microsoft Office Excel (エクセル) の基本的な操作を学ぶコースです。ワードでは簡単なチラシ作り、エクセルでは家計簿を作成します。ワード・エクセルが初めての方向けに、ご家庭での活用方法をご提供いたします。

●趣味コース

デジタルカメラを使った写真撮影、画像の取り込みや保存方法、また年賀状の作成方法も学んでいただけます。学内での写真撮影や写真の加工を通じて、パソコンの楽しさを感じていただくためのコースです。

※当コースはデジタルカメラとUSBケーブルを各自持参できる方への募集とさせていただきます。

経済学特殊講義Ⅱ「通商政策講座」

貿易赤字の拡大、資源・エネルギー問題、TPP参加……日本はどうなる？ 日本をどうする？

本講座は、閣僚経験者をはじめ、中央省庁や関連団体、日本の代表的企業、アメリカ大使館などから講師をお招きし、日本の通商政策の最前線について講義していただく特別授業(経済学特殊講義)です。

※講義の詳細は大学Webをご覧ください

<http://www.osaka-ue.ac.jp/education/faculty/economics/tokusyukougi/>

経営学部 授業公開のご案内

経営学部は、「経営と法の融合教育」を教学理念として、学生の人的成長と真の職業能力の育成に努めています。その一環として、2013年度も経営学部の授業を公開しています。

科目名	『経営と法の融合』 (経営学特殊講義・法学特殊講義のダブルネーム開講)
開講時間	金曜日2限目(10:45~12:15)
教室	大隅キャンパス C館31教室
講義内容	経営学部は「経営と法の融合」を標榜していますが、経営学部の教員が自分の分野のエッセンスをわかりやすく講義します。各回オムニバス形式で、経営学部教員が担当します。

講義の詳細は大学Webをご覧ください <http://www.osaka-ue.ac.jp/life/koukai/>

2013年度
大樟会理事会

80周年記念事業募金のご協力に感謝

佐藤武司大樟会会長が謝意

平成25年度大樟会理事
会が5月25日(土)午後
からJ館で、理事総数
189名中、出席101
名、委任状提出49名の計
150名で開かれた。は
じめに昨年の物故者へ全
員で黙祷を行った。ついで
田村正晴副会長が全理
事の総数が卒業1回から
今年卒業の78回まで各卒
業回を代表する卒回理事
139名、支部・各種団
体理事50名の計189名
との報告があり、その中

で今年選出された23名が
紹介された。事務局から
常務理事の菊川和義氏
(59回)、二宮勉氏(65回)
の辞任に伴い内田敏雄氏
(39回)、伊藤和人氏(67
回)の新任紹介があった。
大樟会からは80周年を
記念して『80』の文字と
無限大を表すデザインを
イメージし、幅3600
mm、高さ2060mmの陶
板レリーフを制作し、大
学へ寄贈します。内容は
創生期の大学、活躍する
現在のスポーツクラブ、
図書館の壁面に掲げ永久
に顕彰します。

「陶板レリーフ」を
大学へ寄贈

はじめに、80周年記念
事業募金委員会委員長を
兼ねる佐藤武司大樟会会
長は「80周年記念募金は
一応3月末で終了しまし
た。募金金額は現在
2億6千万円ですが
最終的には3億円は
超えると思います。
この間、皆さん方に
は母校を支援するお
気持ちとして協力
頂き厚く御礼申し上
げます。また募金の
使い方につきまして
は『ご寄付頂いた方
の意向に沿う』とい
う約束で、半分の



2013年度大樟会理事会



80周年を記念し大学へ寄贈する「陶板レリーフ」(完成予想図)

第3号議案では大学院
同窓会の大樟会統合が提
案された。田村副会長が
討じてまいりま
したが、成案化
できませんでした
ので3分の1が中国系、3
分の1が企業派遣、残り
が本学の卒業生②卒業後
の住所などの追跡ができ
ない③現在の役員では会
員の把握、財政の確立、
事業の推進など不可能に
近い④大樟会と一体とな
ったオール大経大として
大樟会の傘下に入りた
い。このため7〜8回の
会合を重ね統合の道を探
り、成案化ができたこと
を述べた。続いて統合の
条件として大樟会内
での位置付け、会員
資格、会費の徴収な
どが説明され「対等
合併」という基本路
線で理事会の承認を
得た。合わせて大樟
会では「大学院部
会」と称され、これ
を機に各種団体も
「部会」と改称す
ることで承認された。大
学院部会を代表して川口
正義氏がお礼のあいさ
つをした(別掲)。

大学院同窓会を「大樟会」と統合

大学と緊密な
協力体制を

次に議事に入り議長に
進木伸次郎氏、副議長に
廣野義直氏を選出、審議
に顕彰します。

お願ひしたいと思いま
す。また、企業経営者を
中心に組織しております
春秋会の発展的拡大を進
めることと大学院同窓会
の業務の円滑化に向け事
務局スタッフを1名増員
する予定です。90周年を
展覧する中で同窓会とし
て何ができるか。大学運
営は同窓会が下から支え
てこそできるものと存じ
ます。小人数ながら、大
学を良くしようという役員は
頑張っています。引き続
き、協力をお願いしたい」と
述べた。

シ1枚も回ってこない。
援助は意味があるのか、
と意見があった。

第1号議案の24年度事
業報告、収支計算書、監
査報告が行われた。慶弔
規程の扱い方、古い所有
財産の見直しなどの意見
があり、慶弔は自己申
告、所有財産は事務局で
精査することで承認され
た。

第2号議案では25年度
事業報告、収支報告が提
案された。質問としては
各部の活動と予算との関
連が見えない。事業ごと
の金額を示したらどう
か。特に総務部の認定留
学生奨学金授与や奨学論
文表彰の予算の実態の説
明が質問された。一方、
学生が実行している大樟
祭へは資金援助をしてい
るにも関わらず案内ナラ

徳永学長
「ゼミ・就職・マナーの
大経大を目指す」

第2部では来賓あいさ
つで徳永光俊学長が「天

学はスポーツをする選手
を応援しています。選手
は大経大のプライドを持
って頑張っています。80
周年ではハード面は整い
ました。これからは教育
の中味を充実させます。
学生は確実に力をつけて
きています。英語力フェ
の開店を学内で計画して
います。将来大経大を出
て良かったという学生を
出し、隠れ経大生はいな
くなりません。ゼミ、就
職、マナーの経大で私大
が代読した。この
系学生No.1を目指しま
す。勝田泰久理事長から
は「80周年、盛況裡に終
しました。これからは
語学、留学生、スポーツ
を奨励しグローバル人材
の育成に資金を使いま
す。就職の強化では皆さ
ら、後方支援を今後とも
終了した。

春秋会前会長・前四條畷市長
田中 夏木さん(26回卒)
ご逝去
平成25年6月4日、ご逝去され
ました。昭和9年8月21日生まれ。
78歳。昭和35年大阪経済大学卒業。
(株)北田鉄工所入社。昭和41年
(株)田中製作所設立。平成14年
9月大阪府四條畷市長に就任、平
成22年に3選を果たされたが、病
氣治療のため平成24年11月市長を
辞職された。ご冥福をお祈りいた
します。

2012年度卒業式・学位授与式が行われる

新卒業生 1620 名が大樟会の仲間入り

2012年度卒業式・学位授与式が、2013年3月14日(木)、70周年記念館フレアホールで開かれた。今年の卒業生は経済学部、人間科学部、経営学部第1・2部、経営情報学部大学院4研究科の合計1620名。午前と午後に分け挙行された。会場には笑顔いっぱいの卒業生に混じって父母の方々も多数来られ、晴れて卒業したわが子の姿に喜びをかみしめておられた。同窓会を代表して佐藤武司会長が祝辞を述べた。

約束は必ず守る
：佐藤大樟会会長

今日から社会人となられる
皆さんに先輩としていくつ
かお願いを申し上げます。一つは、人
から信用されることです。む
しろ、人から信用される人にな
れ、ということです。人か
ら信用を得るということは、
どんな小さな約束も必ず守る
ということです。そしてそれ
を続けることです。社会に出
ると多くの人と接し、人間関
係も複雑となります。そんな
時、信用があると大きな力と
なります。二つ目は意識改革
をしてプロ意識を持つこと
です。会社に出ればあなた方は
「プロ」です。会社から給料を
貰うわけですから、会社に利
益をもたらさなくてはなりま
せん。まさに競争社会に入っ
たわけですから、与えられた
仕事に一生懸命に取り組んで
ください。そして常に「笑顔」
を持ってほしい。相手からニ
ッコリされるといやな気はし
ません。入社後は誰からも可
愛がられると思いますが、誰
よりも早く出社していやな顔
をしないことです。そして「大
経大」という看板を背負って

生きて行く訳ですから誇りを
持つてください。
最後に今日から皆さんは大
樟会という同窓会の正会員と
なられました。後輩への応援
や大学への支援、会員同士の
親睦を図っています。全国各
地域に支部を設け北は北海道
から南は鹿児島まで50支部を
数えます。どこに住まれても
支部があり年1回は支部総会
を開催しています。どうか出
席してください。先輩たちが
温かく迎えてくれます。また
年1回、11月3日は母校で大
樟会総会を開きます。全国か
ら会員が集まってくる。同
期の友人にも会えます。ここ
らにもお顔をお見せくださ
い。

どうか大きな夢を持ち「青
年よ 大志をいだけ」をはな
むけに贈ります。



祝辞を述べる佐藤武司大樟会会長

同窓会活動の
活性化に乗りたい大学院同窓会長
川口正義さん

うものです。もう一つは、学部・大学院の
枠を超えて、ネットワークを活用すること
です。これは同窓会活動のなほ一層の活性
化にほかなりません。今回の統合は、この
ような流れに乗ることもあります。
大樟会ではパソコン教室などの開放事業
をされています。私も「子どもの能
力の伸ばし方」あるいは「ビジネスにおけ
る集中力の高め方」などのテーマで講演や
授業を予定しております。ご希望がござい
ましたら、ご連絡いただければ幸いです。

大樟会だより

「部会」と改称す
ることを承認された。大
学院部会を代表して川口
正義氏がお礼のあいさ
つをした(別掲)。



理事会を終え、和やかな懇親会

前田 都亮 ●倉貴大・野田 菜代 共著 経営学部3年
「顧客ニーズ・ウォンツの研究」『テネリタ
メソ』ブランド構築事例を通じて」
佐々美加子 人間科学部3年
「プロ野球応援団に見る
文化人類学 社会学的考察」
松本彩也香 経済学部4年
「子どもの学力に影響を及ぼす要因
—教育費の仕り方を考える—」
熊沢沢糸 人間科学部4年
「大学生に調査する
、女性が好かれる特徴、嫌われる特徴」
吉山昂弥 経済学部3年
「日本を愛する!? 6次産業の可能性
—和歌山・観音フルーツガーデンの
成功事例分析より—」
宮田康祐・金子祐真 浅見佳弘・権田康徳
吉野志佑里・興津裕貴 共著 経営情報学部3年
原発問題と電力会社の財務分析」

卒業後も進路支援部へ足を運ぶのと同様に、リアルタイムで求人情報や就活体験記録を入手し、

「卒業生ポータルサイト」4月1日(月)運用開始



ども行っています。

大阪経済大学では、未内定の既卒者を支援するウェブサイト「卒業生ポータルサイト」を4月に新設しました。このサイトは、卒業後も既卒者向け求人情報を積極的に提供し、一日も早い内定獲得をサポートしていくことを目的としています。

「卒業生ポータルサイト」の主なコンテンツは、大学の進路支援部に足を運ぶのと同レベルの情報をリアルタイムで調べることができる求人情報をはじめ、学生の就職活動体験を記録した活動報告書を閲覧できます。

未内定卒業生対象ガイダンス開催
卒業後の就職活動を支援

大阪経済大学では、例年、3月時点で未内定卒業者を対象に就活支援のためのガイダンスを行っています。今年の3月に行われたガイダンスでは約50～60名程度の未内定学生が参加しました。就職が決まらなかった学生の多くに共通するのは、①就活への取り組み意識が不十分だった②就職課へ足を運ばなかったという2点です。本学では、なぜ内定を獲得できなかったのかを振り返って分析し、スイッチを切り替えて卒業後の就職活動に取り組めるようにアドバイスを行っています。今後も既卒者の就職活動ノウハウ、求人情報収集方法、4月スタートの既卒者向け就活支援サイト「卒業生ポータルサイト」の活用方法の周知などを進めていきます。

●既卒生向け合同企業説明会を開催します

日時：7月8日(月) 10:00～ 場所：大隅キャンパス

未内定卒業者の就活を最後までバックアップするウェブサイトを新設

大学新卒者の就職環境は、依然として厳しい状況が続いており、国では関係各省が連携して未内定就活生への就職支援な

現代の若者にとって就活は、社会に出るための大きな難関と言ってもよいでしょう。大阪経済大学の進路支援部では、長年にわたって個人面談を重視した“顔の見える就活支援、”を行ってきました。ゼミ単位での就職活動説明会ではフォローしきれない就職活動への不安や悩みまで、一人ひとりの学生と向き合ってじっくりと話を聞くことで、悔いなく納得ができる就職活動を行えるようにサポートしています。2012年度は、延べ約9千件の個人面談を実施。個人面談が多いほど就職率が高いことが明確になっており、就職支援の中心として更に充実させていきます。

学生と1対1の個人面談を実施
じっくりと話を聞く
顔の見える就活支援

「顔の見えるキャリアサポート」

学生側が面談スタッフを指名
面談を5回以上受けた
学生の就職率は飛躍的に上昇

個人面談は、学年を問わず希望者は何度でも受けることができ、学生から指名を受けた進路支援部スタッフが、個人の能力や興味・関心、可能性を踏まえて、マンツーマンで就活のアドバイスに当たります。面談を担当するスタッフのほとんどが民間企業で様々な社会経験を積んでおり、個別指導で蓄積された情報から、①就職活動の動機づけ②就活の振り返りを重視し、学生の個性に合った企業とのマッチングを行っています。

大阪経済大学では、学生の目線に立って1対1の信頼関係を築くことで、学生が自らの人生選択に真剣に取り組んでいけるように支援し多彩な職業人の育成を目指しています。

●「就活合宿」を実施します

NEWS

実施日：9月10日(火)～9月11日(水)

詳細は進路支援部までお問い合わせください。

2012年度 卒業生の主な就職先

【建設業】

大成建設株式会社、大鉄工業株式会社、積水ハウス株式会社、タマホーム株式会社、大東建託株式会社、大和ハウス工業株式会社、パナホーム株式会社、ダイダン株式会社、栗原工業株式会社

【製造業】

株式会社 神戸屋、シノプフーズ株式会社、株式会社 ヤクルト本社、マルコメ株式会社、小泉株式会社、株式会社 サンエー・インターナショナル、株式会社 東京スタイル、株式会社 東京ソワール、日本バイリーン株式会社、ユニチカ株式会社、株式会社 ワコールホールディングス、大阪シーリング印刷株式会社、三光産業株式会社、日新薬品工業株式会社、科研製薬株式会社、富士製薬工業株式会社、株式会社 資生堂、タカラベルモント株式会社、大日本塗料株式会社、株式会社 白元、株式会社 共和、日東電工株式会社、三協・立山ホールディングス株式会社、アイリスオーヤマ株式会社、モリテックスチール株式会社、アルインコ株式会社、株式会社 三栄水栓製作所、三洋工業株式会社、東洋シャッター株式会社、日本精工株式会社、フルサト工業株式会社、前田金属工業株式会社、株式会社 マルゼン、オークラ輸送機株式会社、グローリー株式会社、株式会社 ダイフク、株式会社 鶴見製作所、日工株式会社、日本テクノ株式会社、株式会社森精機製作所、小泉産業株式会社グループ、三相電機株式会社、株式会社 日本デジタル研究所、ホーチキ株式会社、株式会社 ジーシー、株式会社 メニコン、株式会社 ウッドワン、クリナップ株式会社、タカラスタンダード株式会社、株式会社 クラウン・パッケージ、ザ・バック株式会社、株式会社 トーモク、東罐興業株式会社、ナカバヤシ株式会社、福岡工

業株式会社、山崎産業株式会社

【情報通信業】

NTTタウンページ株式会社、株式会社NTTデータMSE、エン・ジャパン株式会社、株式会社 オービックビジネスコンサルタント、コムテック株式会社、株式会社昭和システムエンジニアリング、株式会社JSOL、株式会社 TKC、トランスコスモス株式会社、日本コンピューター・システム株式会社、パナソニックソリューションテクノロジー株式会社、パシフィックシステム株式会社、株式会社 ブロードエンタープライズ、新日本法規出版株式会社

【運輸業】

阪急電鉄株式会社、近畿日本鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、アートコーポレーション株式会社、アスト株式会社、株式会社 エーアイティー、エムケイ観光バス株式会社、大阪中央冷蔵株式会社、カトーレック株式会社、株式会社関西丸和ロジスティクス、協同運輸株式会社、近物レックス株式会社、鴻池運輸株式会社、コクヨサブライロジスティクス株式会社、株式会社 サカイ引越センター、佐川急便株式会社、株式会社 JPロジサービス、センコー株式会社、株式会社 セントラル・コールド・ストレージ、千里山バス株式会社、トナミ運輸株式会社、株式会社 トランスネット、浪速運送株式会社、南海ウイングバス金岡株式会社、株式会社日新、阪神ロジテム株式会社、株式会社 マルニコーポレーション、三輪運輸工業株式会社、ヤマト運輸株式会社、ヤマトロジスティクス株式会社

【卸売業】

岩谷産業株式会社、旭食品株式会社、尾家産業株式会社、加藤産業株式会社、神港魚類株式会社、ス

ターゼン株式会社、大黒天物産株式会社、トーホーグループ、株式会社 ハークスレイ、株式会社 山屋、UCC上島珈琲株式会社、日清医療食品株式会社、江綿グループ、株式会社 スミテックス・インターナショナル、西川産業株式会社、株式会社 アスティス、アボットジャパン株式会社、アルフレッサ株式会社、河淳株式会社、株式会社 ケーエスケー、東邦薬品株式会社、北恵株式会社、ジューテックホールディングス株式会社、ナイス株式会社、野原産業株式会社、井澤金属株式会社、株式会社 サステック、渡辺パイプ株式会社、クリエイト株式会社、阪本株式会社、株式会社 進和、杉本商事株式会社、ダイドー株式会社、椿本興業株式会社、株式会社 鳥羽洋行、株式会社 日伝、株式会社 ワキタ、株式会社 エフティコミュニケーションズ、ダイワボウ情報システム株式会社、因幡電機産業株式会社、株式会社 遠藤照明、株式会社 たけでん、都築電気株式会社、株式会社 電響社、株式会社 バイテック、福西電機株式会社、不二電機株式会社、宝永電機株式会社、三菱電機・住環境システムズ株式会社、株式会社 ガリバーインターナショナル、アイ・エム・アイ株式会社、株式会社 モリタ、株式会社 大塚商会、株式会社 日興商会、貝印株式会社、株式会社 音通、株式会社 タカショー

【小売業】

株式会社 近鉄百貨店、イオンリテール株式会社、株式会社 オークワ、大阪いずみ市民生活協同組合、株式会社 関西スーパーマーケット、生活協同組合コープこうべ、株式会社 ダイエー、株式会社 パロニー、株式会社 ファミリーマート、株式会社 平和堂、マックスバリュ西日本株式会社、株式会社 ライフコーポレーション、株式会社 ローソン、青山商事株式会社、株式会社 オンリー、株式会社 ジーフット、はるやま商事株式会社、株式

会社 パル、株式会社 コナリテッドアローズ、株式会社 ライトオン、大阪トヨタ自動車株式会社、株式会社 関西マツダ、株式会社 関西ケーズデンキ、コーナン商事株式会社、株式会社 コメリ、浜屋株式会社、株式会社 アインファーマシーズ、株式会社 キリン堂、株式会社 コクミン、株式会社 コスモス薬品、株式会社 サンドラッグ、株式会社 ツルハ、株式会社 ティーツー、HOYA株式会社、株式会社 メガネトップ、島村楽器株式会社、株式会社 ジャパネットたかた

【金融・保険業】

株式会社 三井住友銀行、株式会社 リそな銀行、株式会社 ゆうちょ銀行、株式会社 池田泉州銀行、株式会社 香川銀行、株式会社 関西アーバン銀行、株式会社 紀陽銀行、株式会社 近畿大阪銀行、株式会社 四国銀行、株式会社 但馬銀行、株式会社 徳島銀行、株式会社 鳥取銀行、株式会社 百十四銀行、尼崎信用金庫、永和信用金庫、大阪厚生信用金庫、大阪市信用金庫、大阪商工信用金庫、大阪信用金庫、大阪東信用金庫、笠岡信用組合、観音寺信用金庫、きのくに信用金庫、京都信用金庫、近畿産業信用組合、信金中央金庫、十三信用金庫、成協信用組合、摂津水都信用金庫、高松信用金庫、玉島信用金庫、大同信用組合、鳥取信用金庫、西兵庫信用金庫、日新信用金庫、播州信用金庫、兵庫県信用組合、兵庫信用金庫、富士信用金庫、大和信用金庫、株式会社 オリエントコーポレーション、いちよし証券株式会社、岩井コスモ証券株式会社、SMBCFレンド証券株式会社、岡三証券株式会社、高木証券株式会社、東海東京証券株式会社、野村證券株式会社、西日本建設業保証株式会社、兵庫県信用保証協会、株式会社 アドバンスクリエイト、住友生命保険(相)大阪すみれい営業部、全国共済農業協同組合連合会大阪府本部、第一生命保険株式会社、日本生命保険相互会社、株

式会社 ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング、明治安田生命保険相互会社

【不動産業】

株式会社 アーネストワン、株式会社 エイブル、サンヨーホームズ株式会社、株式会社 ジェイ・エス・ビー、住友不動産販売株式会社、積和不動産関西株式会社、株式会社 大京、日本住宅流通株式会社、三井不動産リアルティ株式会社、リバー産業株式会社

【飲食店・宿泊業】

株式会社 王将フードサービス、株式会社 グルメ杵屋、株式会社 ジー・ネットワークス、株式会社 松屋フーズ、株式会社 モンテローザ、大和リゾート株式会社、株式会社 帝国ホテル、リゾートトラスト株式会社、ルートインジャパン株式会社、株式会社 ロイヤルホテル

【医療・福祉】

社会医療法人 医真会、社会医療法人 大道会、医療法人 河内友紘会、医療法人 慶真会大杉病院、医療法人 尚歯会山田兄弟歯科、市立加西病院、医療法人 武田病院グループ、日本赤十字社千葉県支部、株式会社 ファルコバイオシステムズ、アースサポート株式会社、株式会社 アプリシェイト、社会福祉法人 きらくえん、株式会社 ケア21、甲有会グループ、株式会社 シティー・エステート、社会福祉法人 聖徳園、スミレ会グループ、社会福祉法人 聖隷福祉事業団、社会福祉法人 大慈厚生事業会、株式会社 チャーム・ケア・コーポレーション、社会福祉法人 博安会、ピオティカ株式会社、社会福祉法人 森の宮福祉会、特定非営利活動法人 れんげメディカルグループ、社会福祉法人 六甲鶴寿園

【教育・学習支援業】

摂津市教員、豊中市教員、学校法人 熊見学園神戸星城高等学校、学校法人 常翔学園、学校法人 立志舎、学校法人 清教学園、学校法人 東洋学園、株式会社 希学園、株式会社 ABC Cooking Studio、株

式会社 エイコス、国際東洋医療柔整学院、ビーイー株式会社、株式会社 平成教研、株式会社 マウンテン・ルーツ

【複合サービス業】

日本郵政株式会社、日本郵便株式会社、伊賀北部農業協同組合、香川県農業協同組合、京都市農業協同組合、堺市農業協同組合、たじま農業協同組合、丹波ひかみ農業協同組合、土佐あき農業協同組合、奈良県農業協同組合、兵庫西農業協同組合、福山市農業協同組合、松任市農業協同組合、わかやま農業協同組合

【サービス業】

社団法人 京都微生物研究所、植木保雄税理士事務所、株式会社 シーエーシー、長池勇法律事務所、西岡会計事務所、株式会社 日本旅行、株式会社 ラウンドワン、株式会社 ルネサンス、大和リース株式会社、株式会社 ダスキン、株式会社 トーカイ、東海リース株式会社、西尾レントオール株式会社、株式会社 ニシケン、株式会社 レンタルのニッケン、株式会社 共立メンテナンス、総合警備保障株式会社、テルウェル西日本株式会社、ディップ株式会社、株式会社 東急コミュニケーション、東洋テック株式会社、マンパワーグループ株式会社

【公務】

国税専門官、大阪市役所、東大阪市役所、八尾市役所、豊中市役所、摂津市役所、粟粟市役所、朝来市役所、南あわじ市役所、足立区役所、東淀川区役所、上富田町役場、徳之島町役場、与謝野町役場、陸上自衛隊、航空自衛隊、大阪府警察本部、兵庫県警察本部、京都府警察本部、滋賀県警察本部、奈良県警察本部、和歌山県警察本部、徳島県警察本部、福岡県警察本部、東京消防庁、大阪市消防局、京都市消防局、茨木市消防本部、西宮市消防局、宝塚市消防本部、高岡市消防局、中和広域消防組合、仲多度南部消防組合消防本部、八幡浜地区施設事務組合消防本部

「エネルギー開発」から 日本の未来を考える

地域活性化支援センターオープンカレッジが、2012年12月7日(金)・22日(土)の両日、C館31教室で開催された。今回のテーマは「エネルギー開発の過去と未来、そして地域社会。日本社会を根底から揺るがした原発震災を乗り越えていくための、日本におけるエネルギー政策の方向性と放射性能について、2人の専門家が講演を行った。



第1回講演会講師 植田和弘氏

第1回の講師は、「環境経済学」などを専門とする京都大学大学院・経済学研究科長の植田和弘氏で、講演テーマは「日本のエネルギー政策」。植田氏は、福島第一原発の事故により「日本でエネルギー政策の再設計が始まっている」と前置きし、太陽光発電・風力発電・地熱発電などの再生可能エネルギーが基幹的エネルギーになりうるか、原子力エネルギーは安全に制御できるかといった課題について実例を挙げて解説。「今、電力・エネルギーの仕組みをどうするか、電力システムの改革が求められる」と話した。さらに原子力発電による放射性廃棄物の取り扱いなどの問題にも言及。再生可能エネルギーが廃棄物フリーの電源であることや、太陽光・風・地熱などの地域資源を活用し収入などリターンをの仕組を設計することで地域のビジネス源にもなり得ると強調。再生可能エネルギーを普及させる制度的基盤としての買取制度などについても説明し、地域資源に立脚した再生可能エネルギー事業を早い段階で議論していく必要性を訴えた。

第2回の講師は「放射線防護学者」の安齋育郎氏(安齋科学・平和事務所所長)で、講演テーマは「放射能・過度に恐れず、事態を侮らず、理性的に怖がる」。安齋氏は現在、放射能の専門家として福島県民と協力して「被災者の生を紡ぎ出す方策」を考えサポートしているという。そして原発災害の特徴や重要な問題として、「放射線の影響などを意図的に過小あるいは過大評価しないこと、100年単位で向き合わないといけない環境汚染であること、現在は食べ物を通じての内部被曝より外部被曝が圧倒的であること」などを挙げ、被曝リスクを減らすための方策について説明。さらに風評被害に苦しむ生産者のため「産地で恐れず、実態を恐れず」と訴えた。また原発問題を考えるうえで、科学的側面だけでなく、日本の原発開発が進んできた背景・要因などの多様な視点が必要であることを強調。原発問題は構造的なものであり、主権者である日本国民が、これらのエネルギー政策を主体的に考え、声を出し続けていくことが必要だと締めくくった。



第2回講演会講師 安齋育郎氏

「敗者側」から見た幕末史とは

黒正塾・第11回春季歴史講演会



日本経済史研究所・開所80周年記念の黒正塾・第11回春季歴史講演会が、5月18日(土)、A館フレアホールで開催された。今回の講師は本学経済学部の家近良樹教授で、講演テーマは「敗者の側から幕末維新史を振り返る―会津藩や徳川慶喜はなぜ敗れたのか」。NHKで現在放映中の大河ドラマと関連するテーマだけに聴講希望者が多数となり、会場をC館教室からA館フレアホールに変更しての実施となった。

家近教授はまず、自身が専門とする幕末維新史について、「最近まで、勝者である長州側などから分析する研究が中心で、会津藩や徳川慶喜など敗者側から分析する研究がほとんど行われてこなかった」と指摘。しかし家近教授は史料を詳細に読み込むことで「会津藩は幕末史のどきどきの主役。会津藩を分析しないと幕末史は理解できない」と確信しているという。そして近年は若い研究者の間で敗者側から歴史を見ていくという流れが強くなってきたと、幕末史研究の潮流の推移を説明した。



家近良樹教授

また会津藩や徳川慶喜が敗北した原因として、「民衆間における長州藩の人氣と、会津藩・徳川慶喜の人氣」を掲げ、当時の史料からその具体的エピソードを紹介。「幕末に起きた様々な状況の積み重ねもあるが、特に民衆とのかわりかたが勝敗を分けた大きな理由だったのではない」と結論づけた。

そして自身の今後の研究課題について、「歴史は一つの観点から見えていけない。総合的に分析していくためには人生経験が大いに役立つ。個人の内面に踏み込んだ考察も必要で、歴史の登場人物に対する、老・病・死の問題にも目を向けた考察をしていきたい」と結んだ。

北浜キャンパス『北浜・実践経営塾(前期)』ニュース

テレビや各メディアで活躍中の岡田 晃(本学客員教授)のコーディネートによる実践的な経営学講座を開講します。バラエティに富んだ講師陣より、経験に裏打ちされた経営哲学や企業経営に有益な情報を存分に提供していただいた後、岡田 晃が解説講義をお届けします。

2013年 6月12日(水) 実施済み	
グループ企業の中のグループ会社経営 ～上場企業から子会社になった7年間と 大和ハウスグループの強み～	森田 俊作氏 大和リース株式会社 代表取締役社長(本学卒業生)
2013年 7月10日(水) 18:30～20:30	
トップに求められる人間力	大八木 成男氏 帝人株式会社 代表取締役社長 執行役員
2013年 9月11日(水) 18:30～20:30	
デジタル時代のマーケティング戦略	石黒 不二代氏 ネットイヤーグループ株式会社 代表取締役社長 兼 CEO
2013年 10月9日(水) 18:30～20:30	
IPOがもたらすもの	矢倉 英一氏 株式会社エイアイティー 代表取締役(本学卒業生)

●コーディネーター 岡田 晃(本学客員教授)

●受講料 1講座 1,000円(税込)

●お申し込み手順

①以下のページからお申し込みください。

<http://kitahama-osaka-ue.jp/jissen/13-01.html>

②受講料をお振込みいただきます。その後、本学より受講料振込み確認メールを送信いたします。

(受講料振込み確認メールを印刷して、受講証として当日ご持参ください)

北浜・実践経営塾に関するご質問などは、北浜キャンパス事務室までお問い合わせください。

北浜キャンパス 事務室	T E L	06-6231-1570
	受付時間	平日 16:00～21:00 土曜日 9:00～16:30
	E-MAIL	satellite@osaka-ue.ac.jp
	W E B	http://kitahama-osaka-ue.jp

創立80周年
記念事業募金

ご報告と御礼

本学は、2012年に創立80周年を迎えました。

2010年9月から皆さまにお願いしてまいりました「大阪経済大学創立80周年記念事業募金」は、2013年3月末をもって募集期間を終え、2億6,000万円の寄付金を拝受させていただきました。皆さまから寄せられました温かいご支援に心より感謝申し上げます。このたびの募金は、①学園整備計画のうちの「新図書館の建設」②学生のための「学術・芸術・スポーツ振興基金の創設」の2つに活用させていただきます。①はすでに建設済みで②は学生部とともに取り組んでいく予定です。

募金活動を通して、本学とかかわる多くの皆さまにお願いを申し上げ、本学との「つながる力」がより強いものとなりました。この「つながる力」をさらに深め、本学のさらなる飛躍・発展の礎にしたいと強く願っております。

創立80周年記念事業募金は終了いたしました。企業業績の向上とともに、今回頂戴できなかった皆さまに向けて、教育振興募金として恒常的な募金活動の取り組みへと発展させてまいります。今後より一層のご支援とご協力をたまわりますよう切にお願い申し上げます。

創立80周年記念事業受入実績 2010年9月～2013年3月

区分	新図書館		振興基金		指定なし		合計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
卒業生	757	30,216,000	317	10,944,000	503	16,320,000	1,577	57,480,000
後援会	352	4,509,500	168	2,560,500	200	2,181,000	720	9,251,000
教職員	173	33,816,000	128	26,080,000	64	13,280,000	365	73,176,000
法人・団体	90	31,970,732	66	14,046,000	149	69,010,821	305	115,027,553
一般・篤志家	11	110,000	5	85,700	15	5,470,000	31	5,665,700
合計	1,383	100,622,232	684	53,716,200	931	106,261,821	2,998	260,600,253

創立80周年記念事業 学生企画報告会

4つの活動に成長にじむ



報告①DEPP大阪

創立80周年記念事業・学生企画報告会が3月8日(金)、B館4教室で行われた。司会進行を務めたのは学生企画サポーターの森重俊紀さん(経営学部)。まず徳永光俊学長が「学生企画をサポートしてくれた教職員や学生企画サポーターにお礼を言いたい。80周年記念行事の最後を飾るイベントとなるので、学生も頑張って報告してほしい」と開会のあいさつ。

最初に報告したのは報告①「DEPP大阪」で、テーマは「子どもがつなぐ、人の命」と「地域の絆」東淀川区防災教育

「モデル事業」。「釜石の奇跡」をキーワードとして企画・実行した釜石市スタディツアー・学生による親子防災学習会・災害犠牲者ゼロの地域づくりを考える講習会などについてレポート。「人とのつながりの大切さを感じた。これからは地域との関係を深める活動をしていきたい」と締めくくった。



報告③ロッキング・オン大K大編集部

最後の報告④は「龍馬勉強会」で、テーマは「つながれメッセージ、祭りを彩るキャンドルナイト」。大樟祭の雰囲気盛り上げるために企画したキャンドルナイトについて、その内容や経緯、当日の状況をレポート。「学生が日々思っていることをアピールできた。地域の人にも見に来てくれた」など活動の成果を話した。



報告④龍馬勉強会



最後に参加者全員で記念撮影

KEIDAI DAYSの発行について(お知らせ)

毎回、KEIDAI DAYSをご愛読いただきありがとうございます。KEIDAI DAYSは、2013年度より発行回数を年3回から2回(6月・12月)の発行とします。発行回数は減りますが、今後は、大学のホームページで最新のニュースを皆様に配信する予定です。(http://www.osaka-ue.ac.jp/)

KEIDAI DAYS へのご意見、ご要望を広報課までお願いします。



あいさつする金谷一郎東淀川区長

『釜石の奇跡』に学ぶ 開催

災害犠牲者ゼロの地域づくりを考える集い

80周年記念学生企画・大阪市東淀川区連携事業「災害犠牲者ゼロの地域づくりを考える集い『釜石の奇跡』」が1月26日(土)・2月2日(土)の両日、A館フレアホールで行われた。この集いは、「子どもがつなぐ、人の命」と「地域の絆」東淀川防災教育モデル事業の一環。企画の軸となっているのは、日ごろから防災教育を受けていた釜石の小中学生が巨津波から自らの命を守り抜いた『釜石の奇跡』。遠州専美ゼミの学生たち(DEPP大阪)が昨年6月以降、特別授



学生による地域への提案



業企画班・災害危険度調査班・防災意識調査班・釜石ツアー企画班・記録班の5つのグループに分かれて調査を重ね、実践的に学習。その活動の成果として、親子向け防災教育のモデル授業と、釜石市立釜石東中学校で防災教育を担当していた森本晋也氏の講演などを企画。災害時の迅速な避難の重要性をアピールするのと共に、子どもに対する防



講演する森本晋也氏

またがった行動などを、クイズ形式の質問や実際の映像などで紹介。普段から防災について勉強し、災害時には想定に囚われず自分で考え行動することの大切さを訴えた。

オープンキャンパス2013 全日 11:00~15:30

STEP 1 7.21 Sun STEP 2 8.4 Sun STEP 3 8.18 Sun

推薦入試対策講座 10.6 Sun 13:00~16:00

一般入試対策講座 12.14 Sat 13:00~17:00

詳細は、本学WEBサイトでご確認ください <http://www.osaka-ue.ac.jp/>

11.3 Sun(祝) ホームカミングデー&大樟会総会(同窓会)

同日開催します。

2013年9月には新しい校舎(ND館)が完成します。皆様のお越しをお待ちしております。